


地元企業の魅力発見！北九州市「インターンシップ」事業 受入企業概要書・計画書

企業概要	企業名称	タテホ化学工業株式会社				QRコード 
	代表者名 (役職・氏名)	代表取締役社長 小谷 登志一 <small>企業(団体)の正式な代表者(例：代表取締役、理事長等)の役職・氏名を記入してください</small>				
	本社所在地	〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋字加藤 974 番地				
	会社URL	https://tateho.co.jp/				
	従業員数	260名				
	事業内容	高機能酸化マグネシウムの製造、販売 (業種： 化学工業)				
書類送付先等	送付先 (上記と異なる場合のみ)	〒				
	担当部署名	社長室				
	担当者名 (役職・氏名)	室長 濱野				
	電話番号	0791-42-5041				
	メールアドレス	recruit@tateho.co.jp				
学生の申込条件等	対象学生	大学院	大学	短大	専門	高専
		●	●	●	●	●
	希望学部	<input type="checkbox"/> 学部不問 <input checked="" type="checkbox"/> 希望学部 (理系学生) <input checked="" type="checkbox"/> 希望学部以外は不可				
	受入れに伴う選考	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> <u>あり</u> マッチング後に <input checked="" type="checkbox"/> 書類選考あり(合否あり) <input type="checkbox"/> 企業面談あり(合否なし) <input type="checkbox"/> 企業面接あり(合否あり)				
	外国人留学生	<input type="checkbox"/> 不可 <input checked="" type="checkbox"/> <u>可</u> 日本語レベル <input type="checkbox"/> 挨拶程度 <input type="checkbox"/> 日常会話ができる <input checked="" type="checkbox"/> 日本語能力レベル N2 認定 <input type="checkbox"/> 日本語能力レベル N1 認定				
	募集方法	<input type="checkbox"/> 他媒体なし <input checked="" type="checkbox"/> 他媒体あり (媒体名：Re 就活キャンパス)				
その他条件	技術職に関するインターンシップとなります。 インターンシップ中は作業服を貸与いたします。					
セールスポイント・学生へのメッセージ	当社は酸化マグネシウムを中心に無機化合物材料を製造している企業です。材料の特長と強みを徹底的に追求し、ユニークな機能性商品を開発しています。海外に4箇所の生産拠点をもち、グローバルに販売しています。 技術職に興味がある方はぜひご参加ください。					

実習の条件 ・ 実習プログラム

実習期間	2026年 8月24日(月)～ 8月28日(金)(実働 5日間) 2026年 月 日()～ 月 日() (実働 日間)
商工会議所経由の 受入人数	各日程(3)名、合計(3)名
受入 場 所	部署名・職種 化成品部
	所在地等 〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町 1-26-2
	最寄駅・最寄バス 停からのアクセス ◆最寄駅・最寄バス停からのアクセス 北九州市営バス 響灘工場団地第二バス停 から 徒歩3分 交通手段については相談に応じます
1日の実習時間	8時30分～17時00分(うち休憩 45分)
日給・時給の支給	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(日給… 円 / 時給… 円/時)
交通費の支給	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(実費支給 但し1日につき上限2,000円)

日程	内 容	テ ー マ
初日	午前：オリエンテーション 会社説明、工場見学 午後：技術職の業務について 分析業務など	タテホ化学を知る タテホ化学の技術職について 実際に製品等に触れてみたり、工程を 学んだり、製品検査等を実施
2 日目	・朝礼(連絡事項、予定の確認) ・技術職の先輩について、業務を実施	初日午後と同じ
最 終 日	・朝礼(連絡事項、予定の確認) ・報告資料作成 ・午後：報告発表、フィードバック 意見交換、質疑応用	報告資料の作成、発表を通じて学んだ ことを振り返る 改善箇所を指摘してもらい、弊社も今 後に活かしたい

※実習内容は予定です。変更の可能性もありますのでご了承ください。